

鉄鋼技術情報センターだより

センター新着図書を紹介致します。

下記資料の照会先：鉄鋼技術情報センター 電話 03-241-1228

書名	著者・編集者名	出版年	頁数
高温場におけるエアロゾル粒子の生成・挙動・測定法の研究	鉄鋼業環境保全技術開発基金	1989	92
メタノール燃料の燃焼排気の科学と大気汚染に及ぼす影響の検討	鉄鋼業環境保全技術開発基金	1989	34
乾式低温時脱硫型脱硝触媒の開発に関する基礎研究	鉄鋼業環境保全技術開発基金	1989	21
低融点溶融塩を反応媒体とするダーティー排ガスの同時脱硫脱硝プロセス開発および硫黄化合物回収プロセス開発の基礎研究	鉄鋼業環境保全技術開発基金	1989	52
青潮に関する研究	鉄鋼業環境保全技術開発基金	1989	33
水系自浄作用の機構解明と環境保全技術への応用	鉄鋼業環境保全技術開発基金	1989	44
難分解性有機物を含む活性汚泥処理水の高度処理（物理科学処理と生物処理との組合せによる新しい処理システムの開発）	鉄鋼業環境保全技術開発基金	1989	27
栄養物質制限状態下における赤潮プランクトンの増殖生態及び増殖ポテンシャルに関する研究	鉄鋼業環境保全技術開発基金	1989	35
沿岸海域、特に浅海養殖漁場における有機汚濁とその自浄作用のメカニズムに関する微生物的研究	鉄鋼業環境保全技術開発基金	1989	6
CODの濃度予測モデルの実用化に関する調査	鉄鋼業環境保全技術開発基金	1989	26
リン蓄積菌の検索による生物学的リン除去法の改善および新しいバイオリアクターの導入による硝化脱窒法の効率化に関する研究	鉄鋼業環境保全技術開発基金	1989	36
活性汚泥による廃水中のリンの除去と蓄積リンの利用	鉄鋼業環境保全技術開発基金	1989	11
コークス炉ガス洗浄液および染色工場等の処理水中に含まれる微量物質の実用的除去法の開発	鉄鋼業環境保全技術開発基金	1989	19
Continuous Casting-Volume Four 1988-Design and Operations	ISS of AIME	1988	305
Continuous Casting-Volume Five 1988-Horizontal Continuous Casting	ISS of AIME	1988	139
日本におけるステンレス等の市場調査に関する講演会資料	Nickel Development Institute	1989	119
ムーンライト計画 10年の歩み	工業技術院	1989	700

1. デポジットライブラリー制度について

（第5回鉄鋼技術情報センター運営委員会，平成元年3月6日（火））

事務局より提出された，現行の鉄鋼9社間のクローズドな分散管理デポジットライブラリー制度の対象資料88種に関して，JISTICへ集中化したときの必要書架量とスペースおよび経費（'72年以前および'84年以前とした場合）の試算結果をもとに検討を行い，JISTICに集中化したデポジットライブラリーを設置することを決定した。これによって各社図書室のスペースの節減と一般会員にも開放されたデポジットライブラリーへの道が開かれることとなった。

また，現行の図書室機能は会員および一般ユーザーにとって有用であることが確認され，今後も現在の機能を維持，継続することが確定した。

2. 国際会議資料の収集と利用促進のための方法について（第5回鉄鋼技術情報センター運営委員会）

事務局より提出された，収集量，使用機器，データベースのグレード，冊子体広報誌の規模・方法，それぞれの必要経費，期待され得る機能と予想される利用度に関する比較対照一覧表をもとに検討を行い，次の事項を決定した。

① プロシーディングスの収集量を現行の3倍とする。

② 書誌データベースを作成する。

③ 当面は，試験的段階として，広報誌の発行とオフライン検索サービスを併用して情報の提供を行うものとし，利用状況等を見てオンライン化を検討する。

④ プロシーディングスの収集方法，データベースの作成・検索技術，広報誌に関する小委員会等の下部機構および全体の実行計画について次回検討する。

3. JICSTから申し出のあった協力関係の拡大に関する件（第5回鉄鋼技術情報センター運営委員会）

次回，継続審議し，結論を出す。

4. 鉄鋼技術情報センター運営委員会の従来の下部機構の取扱い（第5回鉄鋼技術情報センター運営委員会）

旧センター運営委員会からの下部機構である（イ）図書資料委員会（ロ）情報検索委員会（ハ）情報管理共同研究会はセンター運営委員会改組に伴うものとして解散することが決まった。今後，新たに，新センター運営委員会を補佐し，JISTICの活動に関する具体的，技術的問題を検討するための小委員会等の設置について事務局案を次回提出し審議することとした。